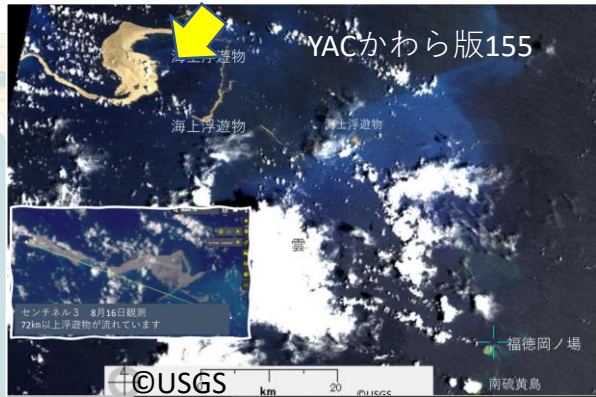


福徳岡ノ場からの軽石

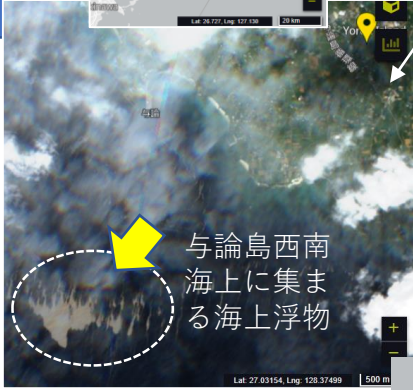


ここ数日、福徳岡ノ場からの漂着物が話題になっています。与論島、奄美大島、大東島や沖縄等多くの島の海岸や漁港に漂着物が大量にやってきているそうです。沖縄の古宇利島の周辺の海岸を黒い軽石が覆っているというニュースもありました。古宇利島の海岸で昔漂着したヤシの実を拾ったことがあります。「軽石が!」と驚きました。

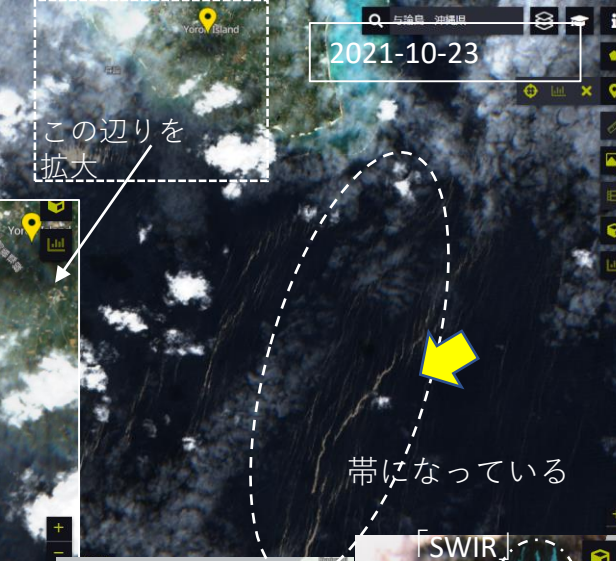
YACかわら版155 2021年8月17日版「福徳岡ノ場」から始まり、数回福徳岡ノ場を紹介してきました。記事での海上浮遊物は噴火による軽石でした。約2カ月かけて1400km以上離れた沖縄本島等に流れ着いています。10月20日ランドサット8観測画像でも、福徳岡ノ場周辺で海上浮遊が確認できます。フォルスカラー画像にすると海上浮遊物がやや鮮明に確認できます。



地図はEOブラウザ 特記のない画像は©ESA



与論島西南海上に集まる海上浮遊物

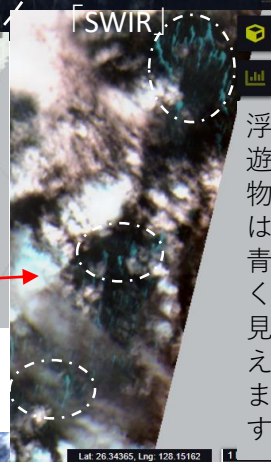


帯になっている

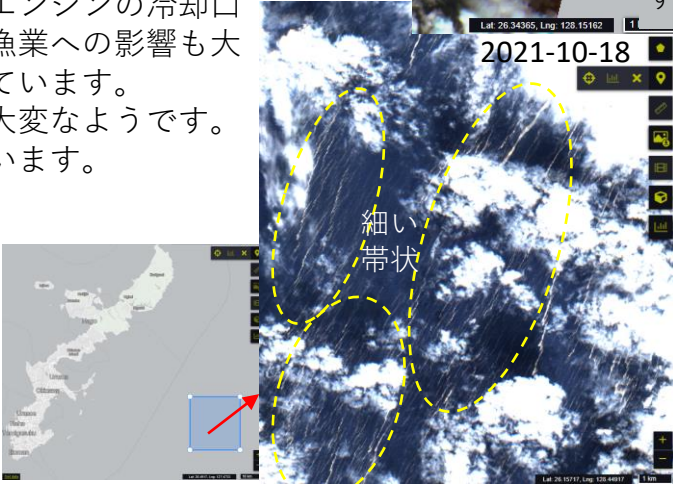
報道でみる海岸に打上げられている福徳岡ノ場からの浮遊物(軽石)はかなり小さい。センチネル2の空間分解能は10mだ。観測日は曇りの日が多く、海岸にひろがっている浮遊物は確認が困難ですが、波や風で海上を帯のように集まって島に近づくようすを数か所確認することができました。海上浮遊物は、船舶エンジンの冷却口の障害になったり、漁業への影響も大きく多くの方が困っています。漂着浮遊物の処理は大変なようです。軽石の漂着が続いています。



この辺りを拡大



浮遊物は青く見えます



細い帯状